

新たな緑の国づくりを発信

◇4千700人が参加し「第64回全国植樹祭とっとり2013」

「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」を大会テーマとした、第64回全国植樹祭が5月26日、とっとり花回廊(鶴田)をメイン会場に開催されました。当日は好天に恵まれ、天皇后両陛下のご臨席のもと、県内外から約4千700人の参加者が会場を訪れ、大会を盛り上げました。

●48年ぶり2回目

「全国植樹祭」

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるため、毎年春に天皇后両陛下のご臨席のもと、

(社)国土緑化推進機構と開催県の共催により行う国土緑化運動の中心的行事です。

鳥取県での開催は、昭和40年5月に大山町上楨原で開催されて以来、48年ぶり2回目の開催となりました。

国土緑化功労

者への表彰後、

天皇后両陛下

によるお手植え、

お手播きが行わ

れました。天皇

陛下はアカマツ、

スダジイ、コナ

ラを、皇后陛下

はヤマボウシ、ウワミズザクラ、ホウノキをそれぞれお手植えされました。

このお手植えでは、両陛下の介添え役を町内小学校6年生10名が行い、両陛下にお声をかけていただきながら、介添え役を精一杯行いました。お手播きでは、天皇后陛下はヤマザクラ、クリを、皇后陛下はイロハモミジ、ヤマガキをお手播きされ、両陛下とも丁寧に種をまかれました。

た方々とともに大会テーマの合唱と「ふるさと」の合唱を行い、式典はグラウンドフィナーレを飾りました。

●参加者全員で記念植樹

式典後、参加者全員による記念植樹が、とっとり花回廊いやしの森と江府町の奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森の2か所で行われました。

ここで植樹された苗木の一部

は、町内の小学校や事業所などで「苗木スクールステイ」「苗木のホームステイ」として約1年間育成してきたものです。参加者は育成された苗木を、未来の森を想いながら植樹しました。



●町内小学生が大活躍

プロローグ「はじまり」では、まず県内に広がる森・川・海の自然を、みどりの少年団たちがダンスで表現するパフォーマンスが披露されました。

中国地方を代表する名峰「大山」を舞台とした創作劇「大山森話」では、木や森と共生することの大切さを表現。また、自然の中で舞い踊る「鳥」「風」

●アカマツやヤマボウシを お手植え

記念式典「はぐくみ」では、天皇后両陛下をお迎えした後、開会のことは、三旗掲揚、大会会長あいさつに続き、平井

伸治鳥取県知事が「ようこそ来てごしなりました」と方言を交え、親しみのこもった歓迎のあいさつを述べられました。

エピローグ「はばたき」では、全出演者と、南部町のキャラクターであるなんぶカッキーズをはじめとする県内のマスコットキャラクターが、参加され

